

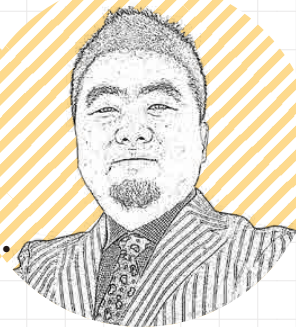
り たくけん
李 澤建 教授

京都大学大学院経済学研究科博士課程修了
博士(経済学・京都大学)

ZEJIAN LI



〈 専門分野 〉
アジア経済・
新興国企業の成長戦略・
国際経営



Q 担当科目を教えてください



アジア経済論

家にある服のタグを調べてみると、「Made in ○○」の印字がよく見られます。○○にはJapan, South Korea, China, Vietnam …、生産国の変遷は何を意味しているのでしょうか。私が担当する講義では、ものづくりを糸口に、アジア地域の経済発展の諸相を映像と写真で皆さんと一緒に勉強していきます。

東アジア経済論

アジア地域の経済成長、とりわけ工業化の進展において、なぜ日中韓台を中心とする東アジア地域は常に歴史舞台の中心に活躍しているのでしょうか。「過去」のしがらみを持ちながら、「吳越同舟」の工業化過程について解説します。

**演習(ゼミナール)：東アジアの地域研究と企業経営
【ゲームタイプ・参加体験型学習】**

入社後の新人研修で高評価を得るための必要な知識の習得という目標に向かって、多様なゲーム体験(経済シミュレーション、ビジネスゲームなど)を通じて、学生の皆さんと一緒に実践的な経済学を学習します。

Q 研究のテーマは何ですか?



アジア地域の企業成長と多国籍企業の新興国市場戦略

後発工業国のアジア企業はどのように成長しているのでしょうか?その研究開発拠点を回り、現場でその答えを探すことにしています。その観察結果を各社の経営企画部署と連携して、成長に必要な戦略的な視点を議論します。

Let's read a book

わたしの
おすすめ本

野生の思考

著者 クロード・レヴィ=ストロース
(大橋保夫 訳)

出版社 みすず書房

出版 1976年

ISBN 4622019728

30歳、研究に行き詰まったとき、薦められた一冊です。目で見えたもの、目で見えないもの、更に目で見えていないものをどう理解すればよいのかと混沌に陥ったとき、度々読み返す一冊でもあります。



Q 研究者ってどんな仕事ですか？



「箱庭」を作ることと同様です。すでに発生したこと、未来に発生するかもしれないと思われることなど、目で直接観察できる物事からできない部分まで、自らの認知力でそれを如実に記録し、理屈の再現を通じて皆さんに見せることでしよう。

Q 先生ってどんな人？



お休みの日は何をしていますか？

主夫ですね。フライパンを振り、フルコースを用意し、家族で食卓を囲む時間を楽しみます。

学生のころに熱中したことは何ですか？

外国語の勉強に結構時間をかけました。当時、漠然としたのですが、今になり、結構助かったと思います。

大阪産業大学キャンパスや大学周辺でのおすすめスポットは？

学内に展示している南海電気軌道モ229はおすすめです。身近に見学でき、気休めにでもいけるスポットです。



2011年はじめて、自力で本格的にインド調査を実施した際、突撃訪問で集落(?)に入りました。都市化によって増えつつある近代的な高層建築物に囲まれた、彼らの旧来の生活空間を見ることができました。貴重な体験でした。

ひとこと 学生のみなさんへ

社会に出た時には、「どういことだ」と問い詰められたら、あなたならどう対応するのでしょうか。自分の「箱庭＝理解」を見せて説明できる人は一人前です。大学はその「箱庭づくり」道場と理解すれば良いでしょう。入学にあたり、不慣

れで、色々と戸惑う場面も多からうかと思いますが、我々という案内人をうまく利用して、目指している「傑作づくり」を最後まで諦めないという心が一番大切ではないでしょうか。Bon voyage!